

四日市を知り、語れるようになろう！

9月27日(水)、そらんぼ四日市へ見学に行きました。最初に全員で見たのは、プラネタリウム。普段私たちが何気なく見ている太陽や月、星といった天体のことについて学習しました。ギネス記録に世界一として掲載されているプラネタリウムはとてもきれいで、美しい星空や音楽に感動したと話す人もいました。50分ほどプラネタリウムで学習したあと、A・Bコースに分かれて四日市公害と環境未来館、四日市公害裁判シアターで見学を行いました。



見学では、一人ひとりが展示や資料を見てメモを取ったり、真剣に映像を見ることができていました。事前学習で、四日市のイメージとして多くの生徒の皆さんが挙げていたコンビナートが、現在に到るまでどのように変容し、維持されてきたのか。なんとなく知っていた四日市や四日市公害についての歴史をより深く知ることができたのではないのでしょうか。



見学から戻ってきた後の新聞づくりでは、そらんぼを見学して学んだこと、自分なりに考えたことを自分の言葉でふり返ることができていました。一生懸命書いたメモや持ち帰った資料を活用しながら、それぞれの視点でまとめなおすことができていたように思います。互いの新聞を見比べれば違いに気づくことができると思います。ぜひ読み比べてみてください。



次の日のデイリーノートには、そらんぼ見学を振り返るコメントがありました。

- プラネタリウムがすごくきれいでびっくりした。さすが世界一だと思った。
- 公害について学ぶことが多く、たくさんメモすることがありました。とてもいい経験になりました。
- そらんぼ見学で自分の知らないことをたくさん聞いて良かった。公害について興味をもつことができてよかったです。

事前学習では、打田先生から「自分の住んでいる地域を愛せるようになってほしい、語れるようになってほしい。」という話がありました。今後、四日市について語るときには、今回の機会をぜひ思い出してみてください。

|